## 問 次の文章を読み、著者の主張を踏まえ、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

現代の日本の時代相を表現するのに、 「ダイナミック」という言葉ほどふさわしいものはない

ける必要を、 「ダイナミック」とは「動的な」という意味に解していただいて結構だが、私はそれに「非常に」という副 副詞をつ

感じないではいられない。

激烈なダイナミズムを胚胎したこうした時代は、 過去の 日 本にも存在した。

例えば、 幕末である。

様化した価値観が互いに衝突し合い、 がそれぞれに長期的な目標をもってぶつかり合った結果生じた激変であるのに対し しかし、 幕末の激変動と現代日本のそれを比較してみて気づくの 複雑な変動をとげていることに特徴がある。 は、前者が二つ、 て、 または三つの 今の 日本の激変は、 明確な立

では、 私たちはどうしたら、 このような激動の時代に対処できるのだろうか

私たちにこれから最も要求されるのは、自分自身の判断力(多様な人生を生き抜く選択の智恵である)と考え

が、 するための教科書は存在しない。自分自身で素心になり深く考え、 原理とか、 残された唯一の方法だと私は思うのだ。 原則とかに固執していては、 多様性と、 変動に対処していけない その結果、 最も賢明な選択をすることだけ のである。 変動と多様化に対処

多様化する時代こそは、個人が自己の可能性を発揮しやすい時代だからだ。 こういうといかにも多難な時代のようであるが、 実は私は、 逆にむしろい 11 時代だと思ってい る。

資質といった目に見えない部分も違う。 十人十色というけれども、 人は生まれた時に、 だから、 人それぞれ可能性は、 すでに一人ひとり異なっている。 当然、 多種多様であるべきはずなので 外面だけではなく、

目をつむり 身を置けば、迷うこともなく、 は迷いたくないからである。 ところが、 たがるのだ。 人はともすると、 例えば、 この多様性に目をつむりたがるのだ。 不安にかられることもない、 一流大学に入り一流企業に就職するという、 と人は考える。 なぜか。 それゆえ、 安心したい いわゆるエリートコー 多様性に対して、 からである。 あ スに る 11

け 目をおおってはいられなくなるのだ。 ればならなくなるのだ。 変動 は、 上は上、下は下といった、 自分自身の可能性を懸命になって掘り当て、 こうした直線的な進み方を変えるだろう。 人はもはや、 独自の生きがいを創造しな 多様性に対して

ては、 社会も、 社会は 変動に置いてきぼりにされ、 また、 おびただしく混乱し、 そのことをすべての 悪くすれば、 多様化に見放され、 人に要求せずにはいられなくなるに違い ってしまうからであ 絶望感に支配された人間が比重を占めるようになっ ない。 独自  $\mathcal{O}$ 生きが 1 で

それがい のだ。 独自 の生きがいを創造するために、 いことでも、 労苦を伴うことでも、 自分自身の中に眠っている可能性を掘り当てていかなければならな 時代を生き抜くためには、 そのことが必要になっ

物事の起こる原因や兆しが生じること

引用 「生きること学ぶこと」広中平祐著 集英社文庫